

〈沖縄県立開邦高等学校〉

(美術) 授 業 シ ラ バ ス

教科	科目	単位数	学科・学年・組
美術	美術史	2単位	芸術科 第3学年6組

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	主にヨーロッパを中心とした西洋美術の古代から現代までの美術の流れを学ぶことで美術の果たしてきた役割を理解し、同時に作品の制作意図を探る場とする。		
教科書・副教材等	西洋美術史	授業形態	一斉授業・調べ学習

2 学習計画

学期	月	学習内容	学習のねらい	評価の観点	考查
1 学期	4	美術史概論 西洋美術史 古代～中世の美術	オリエンテーションで美術史に興味を持つ。		中間 考查
	5	・盛期ルネサンス ・北方ルネサンス ・マニエリスム			
	6	・バロックとロココ ・新古典主義 ・ロマン主義	・西洋美術史の骨格を理解し、各項目の主な作品の成り立ち、その背景を学習し、時代の区分を明確にする。	・美術史に対する興味関心態度を養うことができたか。 ・美術作品の時代、思想、作家、表現等、美術史には様々な要素、側面があることが理解できたか。 ・美術史を振り返ることにより、各時代の様式や技法を吸収することができたか。	期末 考查
	7	・写実主義 ・印象主義 ・新印象主義	・歴史的に優れた作品を鑑賞し、それらの作家の思想および、表現方法を学ぶ。	・レポート作成の技術の向上が計られ、適切な文章表現ができたか	
2 学期	9	・後期印象主義 ・フォービズム ・キュビズム	・西洋美術史に関する興味関心を高め、美術に対する幅広い知識や技術を身につける。	・講評会やプレゼンテーション等で各レポート等のコンセプト、技法、材料、反省課題等を的確に発表することができたか。	中間 考查
	10	・イタリア未来派 ・ドイツ表現主義 ・絶対主義(シュプレマティズム)	・作者の主張、作品と時代や社会とのかかわりなどを考察し、自己の価値観や美意識を働かせて作品を読み取り味わう。	・国際理解に果たす美術の役割を理解し、生涯にわたり美術を愛好する態度を身に付けることができたか。	
	11	・ロシア構成主義 ・ダダイズム ・シュルレアリスム	・国際理解に果たす美術の役割について理解する。		期末 考查
	12	20世紀の美術	・文化遺産としての美術の特徴と文化遺産等を継承し保存することの意義を理解する。		
3 学期	1～3	研究レポート制作 ・行ってみたい美術館 ・好きな芸術家	・インターネットや書物などから行ってみたい美術館を探し、その理由や美術館の紹介をweb形式でプレゼンテーションする。 ・好きな芸術科を調べ、レポート形式でまとめる。 ・美術に関する興味関心を高め、幅広い知識や技術を養う。	・web形式で分かりやすくまとめられているか。5分の制限時間内で分かりやすく工夫されたプレゼンテーションができたか。 ・作品の内容、コンセプト、技法、材料、反省課題等を的確に発表することができたか。	
年間の 評価		定期テストや作品の提出状況、観点別評価(関心・意欲・態度、発想や構想の能力、創造的な技能、鑑賞の能力)などを総合的に判断し評価する。			

3 その他